

元岡山市教育長 奥山 桂

戦後すぐに、岡山市立清輝小学校の大土井淑夫校長先生が、数多くの教え子を戦場に送り出した苦い体験から、二度と戦争の災厄をおこしてはならないとの深い反省のもとに、自ら考え、判断する子どもを育てなければならないという願いをもって、自校の学校図書館をつくった。そこに学校司書を配置し、教師と学校司書とはともに、自ら考える子どもの育成の願いを共有して働いてきた。この伝統が岡山市の学校図書館には引き継がれている。こうした、教師と共に働く学校司書の仕事は、継続される職であり、正規職員であることがふさわしいと思う。

岡山市在住 高校教諭 相賀和夫

学校図書は大切な財産です。これをただの紙くずにするか宝の山にするかはそれを生かすことのできる学校司書にかかっています。そして岡山市は全国に先駆けてそのしくみを作り上げてきたではありませんか。

また、新しい学習指導要領でも学校図書館の活用が重要視されています。その負担を個々の教師に負わせるのではなく、専門の司書と連携すればローコストハイリターンが望めるはずです。

以上のことから専任専門で正規の学校司書がいる学校図書館の維持を切望します。

中学校教諭

中学校における学校図書館は自分の居場所を探す生徒にとっての安息の地であり、再出発のための充電スポットであり、新しい価値観に出会い成長するための修養の場でもある。前面に出ることは少ないが現場になくてはならない存在である。

倉敷市教員

教材研究のため、図書館を利用させていただいています。本当に助かっています。ありがとうございます！使いたい時に使えないのが本当につらいです。図書館司書も正規採用を増やしてください。学生の頃も図書館に入り浸っていました。学校図書館の充実を！

中学生

小学校の時からたくさん本を読んできました。そうしていると自分が読みたい本は、なくなっていきました。そんなとき、新たな本とめぐりあわせてくれたのが司書の先生です。「おもしろいよ」とすすめてくれ、新たなジャンルの本なども楽しむことができました。ぼくら、子ども達の道標となるべく学校司書は必要だと思います。どうか、このすばらしい環境をなくさないでください。

岡山市内小中校卒業生

図書先生にたくさん読みたい本、読むべき本を教えてくださいました。図書の時間も楽しかったです。自分の子ども達にも同じように本を読んでもらいたいと思います。

市内小中校卒業生

図書の時間に紹介してくれる本を楽しみにしていました。今後も図書の時間を大切にしたいです。